岩平プロジェクト

高崎市立岩平小学校

１　取り組みの概要

令和６年度に引き続き、今年度も活動名を「救え！ わたしたちの地球 岩平プロジェクト２０２５」とし、「たかさき学校 ISO」の取り組みを核とした環境教育を実施してきた。また、地域のボランティアの方々の協力をいただきながら環境教育を進めてきた。

２　令和７年度の活動内容

（１）岩平プロジェクトの取り組み

次の４項目に焦点をあて、全校で取り組んでいる。

①電気を大切に使います。　（節電活動）

○使っていない教室やトイレの明かりを消します。

○グリーンカーテンを作り、エアコンも節電を考えながら適切に使用します。

②水を大切に使います。　（節水活動）

○コップ１杯の水で、給食の後の歯みがきをします。

○雑巾を洗う時は、バケツを使います。

③ゴミを減らし、リサイクルを心がけます。

（ゴミ減量活動・リサイクル活動）

○ゴミの分別を守ります。

○牛乳パックは、新聞紙の容器に入れ、ビニールぶくろを使いません。

○ペットボトルのキャップを集めます。

④学校と学校の周りをきれいにしていきます。

（環境美化活動・清掃活動）

○クリーン活動を１年間で２回行います。

○清掃の時間では、縦割り班で協力して清掃を行います。

○校舎前にある花壇に花苗を植えて緑あふれる学校にします。

（２）主な環境についての活動

【グリーンカーテン】

職員室の南側の窓に、ヘチマのつるを利用したグリーンカーテンを育てた。夏の日差しを防ぎ、猛暑の夏を乗り切ることができた。

【里山登り】

理科や生活科・総合的な学習の時間の一環として、里山や学校周辺の草木や野鳥の観察を実施した。観察を通して、自分の住む地域の自然の素晴らしさや、環境を守ることの大切さを学ぶことができた。また、朝活動では里山に登り、四季折々の自然を楽しんだ。

【ＳＤＧｓ講演会】

群馬県住みます芸人のアンカンミンカン・富所哲平氏をお招きし、ＳＤＧｓについて講演会を実施した。「つながりを知ること」をキーワードに、「なぜ二酸化炭素を減らした方が良いのか」「持続可能な社会にするためには」など、笑いを交えながらわかりやすく楽しんで学ぶことができた。

３　取り組みの見直し及び今後の活動

○児童が環境への関心を高め、環境を大切にする意識と習慣を身に付けられるように身近な自然を活用した環境教育をさらに継続し充実させていく。

○これからも地域のボランティアの方々との連携による、環境教育を推進していく。

○学校の環境教育の取り組みを保護者や地域の方に周知し、学校と地域が一体となった環境教育活動の充実を図る。